

授業科目名	音楽表現演習	担当教員名	河野 佑美
科目区分	教職・保育に関する科目	施行規則に定める科目区分等	大学が独自に設定する科目-保育の内容・方法に関する科目
必修・選択/単位数	必修 / 1単位 (30時間)	授業方法/担当形態	演習 / 単独
開講学年/学期	2年 後期(3-4期) / 年間開講数 1講座	特記事項	
授業の概要及び全体目標	表現領域の中で音楽が果たす役割を踏まえて、実際に幼児音楽を用いて器楽合奏や編曲を学び、幼児がより楽しく音楽表現ができる方法を探ると共に自身の表現力を豊かにする。発表会を通して他者と協力し計画的に課題を進められる力、実践に繋がる音楽表現の方法や練習方法を養う。		
到達目標	<p>(1)幼児の音楽表現を導き出すために必要な保育士の伴奏方法、音楽表現力養う。</p> <p>①合奏で使用する楽器の正しい奏法、楽器を通して自らを表現する力を身に付ける。</p> <p>②幼児の年齢別の音楽理解度を把握し、適切な選曲ができるようにする。</p> <p>③様々な曲や狙いに沿った伴奏方法を習得する</p> <p>(2)音楽表現を共有し、それらを互いに高めることができる。</p> <p>①協働作業を通して、他者と協力し、作品を完成させるプロセスを体験し、計画的な準備ができる。</p> <p>②発表を通して、より幼児の感性や感情を引き出す方法を見出す。</p>		
テキスト	自主プリント		
参考書・参考資料等	「平成29年告示 幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育・保育要領 原本」(株式会社チャイルド本社)、新・保育内容シリーズ 音楽表現 三森 柱子 著 「打楽器教則本 小太鼓・大太鼓 編」全音吹奏楽器教本 9 (全音楽譜出版社) 今村征男 著		
成績評価の方法	習得度・理解度チェック、実技等：60% 提出物：30% 受講態度：10%		
授業外(事前・事後)学習の方法、オフィスアワー等	事前学習については授業で指示する。事後学習については毎回コメントシートを提出。 オフィスアワー：授業終了後、質問事項を質問シートに記載し、学務室経由で提出してください。		
授業計画	授業の内容	到達目標番号	
第1回	小太鼓演習① 姿勢、基本の打ち方、年齢別練習方法を知る / 行進曲の合奏① 年齢毎に使用する楽器の種類、舞台配置を知る。パート決め、パート練習 / 指揮法① 拍子別の指揮法の理解	(1)-①,(1)-②,	
第2回	小太鼓演習② 練習曲1番、2番 / 行進曲の合奏② 全体練習 / 指揮法② 強弱の表現	(1)-①,(2)-①	
第3回	小太鼓演習③ 練習曲1番、2番 復習 / 行進曲の合奏③ テンポアップやバランスの調整、発表の流れを理解する /コード伴奏① 4月・5月の歌を中心に 主要三和音の確認	(1)-①,(1)-③,(2)-①	
第4回	小太鼓演習④練習曲3番、4番 / 行進曲の合奏④ 発表 撮影し、視聴して振り返る / コード伴奏② 6月・7月の歌を中心に【ICT機器の活用】	(1)-①,(1)-③,(2)-②	
第5回	小太鼓演習⑤練習曲3番、4番 復習 / 複雑なリズム曲の合奏① パート決め、パート練習 / コード伴奏③ 8月・9月の歌を中心に	(1)-①,(1)-③,(2)-①	
第6回	小太鼓演習⑥ 理解度・到達度チェック / 複雑なリズム曲の合奏② 全体練習 / コード伴奏④ 理解度・到達度チェック	(1)-①,(1)-③,(2)-①	
第7回	複雑なリズム曲の合奏③ テンポアップやバランスの調整 / コード伴奏⑤ 10月・11月の歌を中心に	(1)-①,(1)-③,(2)-①	
第8回	複雑なリズム曲の合奏④ 発表 撮影し、視聴して振り返る【ICT機器の活用】 / クラシック曲の合奏① パート決め / コード伴奏⑥ 12月・1月の歌を中心に	(1)-①,(1)-③,(2)-②	
第9回	クラシック曲の合奏② パート練習、全体練習 / コード伴奏⑦ 2月・3月の歌を中心に	(1)-③,(2)-①	
第10回	クラシック曲の合奏③ テンポアップやバランスの調整 / コード伴奏⑧ 理解度・到達度チェック	(1)-③,(2)-①	
第11回	ボディーパーカッション① 身体の様々な部位の音を体験する。リズムを創作する / クラシック曲の合奏④ 発表 撮影し、視聴して振り返る【ICT機器の活用】	(2)-①,(2)-②	
第12回	ボディーパーカッション② 作品全体の流れを知る。創作したリズムの復習 / 子どものうたの作詞作曲① テーマを決める。調性を選択する。楽式の構成を理解する。	(1)-③,(2)-①	
第13回	ボディーパーカッション③ 空間を意識して、表現を豊かにする / 子どもの歌の作詞作曲② 歌詞を作成する。旋律を作成する。	(1)-③,(2)-①	
第14回	ボディーパーカッション④ 作品の暗記 / 子どものうたの作詞作曲③ 雰囲気合う伴奏リズムの選択。全体の調整を行う	(1)-③,(2)-①	
第15回	ボディーパーカッション⑤ 作品の仕上げ【ICT機器の活用】 / 子どもの歌の作詞作曲④ 楽譜の清書。正しい記譜法の確認。	(2)-①,(2)-②	